議会広報くっちゃん M 165





主な内容

■新体制の議会・・・・・・・ 2 P ~ 3 P
■こんなこと決まりました·····4 P~7 P
■平成27年度予算······8 P~9 P
■行政報告······10 P
■委員会活動告·····11 P
■一般質問
ここが聞きたい一般質問・・・・・・12P~24P
■意見書・大学生のご意見25 P
■議会の動き・・・・・・・26P

副議長に

0 0 0 D ota議員

副議長

無所

属

4 回

67

議

員

//お

自治研究会 アップラー インディングラ

61 1 回

議

員

笠さ

ユ 原 きょう はら はら けい

(無所属) 5

口

53

(無所属) き **朽**ぅ

議 長 に

議員



新しい政治を創る会 長 鈴す 木き (無所属) 7 昭き 70

議

円

滑な議会運営を

地方選挙後の初のこのたび、統一 代俱知安町議会議 臨時議会で第十七

とになりましたこ 長の要職に就くこ

並びに羊蹄山麓町村議会正副議長会会長あわせて、後志町村議会議長会副会長 とは、 ら感謝申し上げます。 身に余る光栄でありまして、 心か

に選出をいただきました。 に向け全力で取り組みます。 、倶知安の更なる発展と議会の活性化羊蹄山麓・後志の中核都市の議長とし

事録検索システム」や「議会中継」、 事録検索システム」や「議会中継」、そも議会での論議を見ることのできる「議 会 て効果的でわかりやすい議会にするた まず、 (議会改革特別委員会)では、 議会改革であります。 前期町議 いつで

回

各位、 ざいます。 展のために誠心誠意努力いたす覚悟でご だきながら、 事者の皆様には、 り組んで参りたいと思いますの きながら、町民の皆様とともに町政発者の皆様には、引き続き御協力をいたは、更には西江栄二町長をはじめ町理はんで参りたいと思いますので、議員、審議をしやすい議会の環境整備に取 何よりも議員の皆様 が、 議論をし しやす

が、

副議長選挙では盛多勝美議

議

長選挙では鈴木保昭

議

員

出が主なものでした。

員がそれぞれ当選しました。

つづいて各常任委員等が

選

監査委員には 森下議員の

選 町

姿勢として、管内で一番の議会を目指しら信頼され、頼りにされる議会」を基本「町民に身近で開かれた議会」「町民か 勝をご祈念いたしまして、 ご理解とご支援を宜しくお願い致します。て活動してまいりますので町民の皆様の 終わりあたりまして、 町民各位のご健 就任のご

組み、円滑な議会運営に努めてまいりまであり今後、町民の皆様の声を頂き、議であり今後、町民の皆様の声を頂き、議めに一問一答の質問方式など改革は大き じ 13 あ この会議は議長、 め各常任委員会の委員 日に開かれました。 る 統

第 4 地

回

I臨時町

会議

が

5 会

月

副議長

の選は

方選挙

後

0

初

議

で

二元代表制の一翼を担う議会として

任に同意しました。 長提案のとおり、 出されたあと、

このページでは、

16

名の

議

員

を紹介し

じます。



経済・建設常任委員



会委員 後志教育研修センタ 厚生・文教常任委員 組合の議会の議員



員長総務常任委員会副委 議会運営委員会委員

〇所属会派 〇氏名・ 〇常任委員・組合議会議員等 年齢 (所属政党)・当 (6月1 日 現 選 在 回 数

新しる

議

(無所属) (無所属) (元)

57

議

1 回

(無所属)

2 回

口

43





議

員

坂なか

井ぃ

美み

穂は

52

議

議

(無所属)

1

口

司じ

55

(公明党)

1 回

議



合の議会の議員
羊蹄山麓環境衛生組総務常任委員会委員



会委員 経済・建設常任委員



新しい政治を創る会 門 田



議会運営委員会委員

総務常任委員会委員



無所

属

1 口 子こ

46

(日本共産党) **芳**じ 男ぉ 67 8回

議

(無所属) 2回

樹き

47



羊蹄山ろく消防組合 会副委員長 経済・建設常任委員 の議会の議員



(無 無**淳**ん



総務常任委員会委員 属 39 1 回



長養金運営委員会委員

会委員

厚生・文教常任委員

(無**照**でる 属 76 3 回

議

新しい政治を創る会・職 員 二 島 喜

(無所属)

5

回

吉は

63

議

(無**則**のり

65

議

3 回



会委員

厚生・文教常任委員

議会運営委員会委員

合の議会の議員善議会運営委員会委員 会委員長 経済・建設常任委員



議 (無所属) 61 3



議会運営委員会委員終務常任委員会委員



会委員長 の議員 後志広域連合の議会 厚生・文教常任委員



回定例会

会計予算を原案どおり可決しました。

正予算を原案どおり可決しました。

平成27年度一般会計、特別会計、

水道事業 反対者

して審査し、

また、13人の議員が計30件の一般質問を行 町政全般にわたる議論を行いました。

本会議で可決しました。

計画後期基本計画の策定を特別委員会に付託

と5件の意見書を採択しました。 すべて原案どおり可決・同意し、

また、

総合

1件の決議

固定資産評価委員の選任などの審議を行い、

町道路線の認定と変更、

契約の締結1件

までの16日間の会期で開催しました。

般会計、3つの特別会計の平成26年度補

平成27年第1

回定例会を3月9日から

2<u>4</u> 日

は1名で欠席者が1名です。

(詳細は6頁)

4件の条例制定と一部改正を10件行いまし



般会計

874万6千円の増額で 賃金や工事費、 補正予算(第7号)は、 委託

ました。 るさと応援基金積立金」 しました。 に575万円を積み立て 後志広域連合の負担金 歳出の主なものは、「ふ 6845万円と確定

円増額しました。 2388万円増額です。 体育成支援事業補助金」 「くっちゃん型住宅建設 除雪対策費では、「排雪 料」1700万

促進助成金」と「住宅改

額となりました。 回修 助 成金」 計 3 1 5 0 は、

収です。 また、 地の宅地販売が予定を下 額となりました。白樺 こ税・入湯税・自動車重 回り4452万円程の減 円減収となっています。 量税合わせて1450万 となりましたが、 交付税が2300万円増 民税が7500万円増 歳入の主なものは、 国からの特別地方 町たば 団 **収**町

主な要因です。

の未使用金(不用額)

なりました。 総額78億5427万円と 188万9千円の増額で、 国の地域活性化・地域 また、(第8号) は、 6

農業振興費では、「経営

円、地域創生先行型27生活支援型が3406万 12万円が主な歳入です。 金事業の地域消費喚起・ 住民生活等緊急支援交付 子育て世帯商品券事業 地域創生先行型27

予定を下 万円減

配布されます。

また、プ

が1630万円で、

人に7千円の商品券が

円を減額しました。 工事分の2億96

0

0

万

として261万円計上し、

ムに750万円、教育分 定住化促進住宅リフォー 観光振興に904万円、

て行われます。 実施は27年度に繰り

特別会計国民健康保険事業

加しました。 入4272万7千円など32万7千円の支出を雑 後志広域連合負担金43 で4332万7千円を追 補正予算 (第5号) は

主な補正予算額

交付金の不足で中止した補正予算(第3号)は、

終末処理場脱水施設更新

別会計が道事が

874 万円 -般会計(第7号) -般会計(第8号) 6118万円 国民健康保険事業特別会計(第5号) 4332 万円 公共下水道事業特別会計(第3号) △2億9600万円 地方卸売市場事業特別会計(第1号) 11 万円

(金額は万円未満切り捨て)

特別会計地方卸売市場事業

5万円を計上しました。 レミアム商品券に160

追加しました。 ことにより11万9千円を 使用料で売上高が増した 補正予算 (第1号) 7 は

条 例

関する条例事業の利用者負担に及び特定地域型保育特定機質を

なります。 額は規則で定めることに ることができる条例です。 の状況等を勘案して定め の負担額を保護者の所得 定地域型保育)の利用者 た許可外保育施設等(特 新制度での運営を選択し 稚園 (特定教育·保育施設) の運営を選択した私立幼 る町立保育所や新制度で 育て新条例の下で運営す 27年度から子ども・子

条 例

条町

の制定

条乳例幼 の一部改正 別児等医療費助4 成

乳幼児と同様の助成を実 限る)を対象としていた 学生(入院・訪問看護に 施します。 での全ての子どもに対し、 医療費の助成を中学生ま 乳幼児及び小学生・

27 年 7 助成条例」と改名しまし た。 題名を「子ども医療費 · 月 1 日から施行

不例の一部改正可立保育所設置 子ども・子育て新制度 管 理

要の改正を行いました。 開所時間を8時から18時 福祉法でなくなるため所 必要性を認定した上で給 保育の実施基準が保育の る町立保育所について、 までに延長しました。 保育料の徴収根拠が児童 付される仕組みとなり、 下で運営することにな

管地 量条例の一地方卸売市場 場設置 部改正

件に27年度1年間の延長 見直しを進めることを条 付託し審査していました。 正案について、 期間を3年間延長する改 賛成多数で修正案を可決 とする修正案が提案され、 あり方も含めた抜本的な に経済建設常任委員会に 分の6から3に減額する る市場使用料を1000 平成21年から町に納 委員会より公設市場の 昨年12月

C

中学生までの医療費の無料化が始まります

と教育長が一本化される

の報酬等に関する条例の

特別職で非常勤のも

の

部改正は、

教育委員長

例費議 例の一部改正賀用弁償に関する条譲員の報酬及び

改正です。 議会の発議による条例

ました。 め、 26年度で期限が切れるた 酬を引き下げていますが、 抜本的に見直すことにし して議員報酬の在り方を あと2年延長します。 議会改革の一環と

れるため、 が27年4月1日に施行さ 正を行いました。 新たな教育委員会制度 関係条例の改

育長が特別職となるため、 会条例の一部改正は、教 る規定を削除しました。 特別職職員報酬等審 教育委員長に関す

平成17年度から議員報

教育長を審議会の対象に

となったため、 定しました。 給与と期末手当の額を規 教育長が常勤の特別職

ました。

趣旨の内容で整備を行

護を図るため、

法律と同

額を100分の410と 職の町長の給与を月額3 万5千円、 円減額し、

改正職員給与条例の一 部

夜勤務に対して管理職員 した。また、 下げ、平均2%引下げま い号俸は最大4%程度引 ました。50歳代後半が多 給与配分の見直しを行い 勧告に基づき、世代間の にやむを得ず行う平日深 26年8月7日の人事院 臨時·緊急

加えました。

除の特例を規定しました。 改正と職務専念義務の免 勤務時間に関する条例の 特別職となった教育長の 関する条例の一部改正は、 教育長の勤務時間等に

改正 行政手続条例6

の

関する条例の一部改正特別職の職員の給与に

確保と透明性の向上を図 行政運営における公正

町民の権利利益の保

正する法律の施行に伴い、

行政手続法の一

部を改

教育長の

する改正です。 また、引き続き、 教育長は2万750 副町長は3万 期末手当の 特別

情報公開条例 の 部

止され、 り ため、所要の改正を行 法人の分類が定められた 部を改正する法律によ 独立行政法人通 uれ、新たな独立行政 独立行政法人法が廃 則 法

部改正議会委員会条例の

改正です。 議会の発議による条例

0

改める改正です。 な責任者となる教育長 本化されるため、 教育委員長と教育長

特別勤務手当を新たに支 給することにしました。

課題・施策の方向にまと

めざす姿・現状と

れています。

計画

の整理・統合が行わ

ち」の目標に対する基本 ち」「やる気いっぱいのま ともに健やかに育つま す。結果、「子どもが心身

れました。また、個別目

ш の策定

規約 変更

後志広域連合規約

定例会初日に倶知安町

より保険料負担割合が変 介護保険制度の改正に 一部を

するために規約の一 費の町村負担割合を変更 地域支援事業に要する経 変更するものです。 域支援事業の財源構成割 更となることを受けて地 合が変更となることから、

行われ、最終日に委員会

定例会会期中に審査が

の「原案可決」の報告を

本会議で質疑を行

設置して、審査しました。 議員による特別委員会を の策定の提案が行われた 総合計画の後期基本計画

議長を除く14名の

(7) 町 道路線の認定ほ

か

その他

ました。 52mを町道路線に認定し 地仲通1、 の750・79m、白雪団 羊蹄の里線1から4号 2号の129・

2・11mの町道路線を廃 止しました。 花園ワイス線236

変更いたしました。 mから567・ 羊蹄の里線を518・ 55 m

契約の 更

代金7257万6千円を 6933万6千円に変更 請負契約について、請負 しました。 寒別橋橋梁修繕工事の

を考慮し、現状と課題の までの取組みの経過など

記載内容を見直していま

画策定後の社会情勢の変

化や諸制度の変更、これ

る見直しは、

前期基本計

致で可決しました。

後期基本計画策定に係

い、採決の結果、全会一

Co舗装版との混合床で た部分がコンクリートと の打ち直しで設計してい 見直しによるものです。 あったことによる設計の 床版がコンクリート床

固定資産評価員の 同 意

した。 とすることに、同意しま 長の窪田 固定資産評価員に副 栄さん (61)

各議員の賛

易交渉に係る意見書のほ

か4件の意見書を採択し

(詳しくは25頁

知安余市道路に関する決

北海道横断自動車道

意見書

議とTTP交渉等国際貿

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。他の議案については、全員が賛成しました。

審議結果	議案名等	樋口 敏昭	笠原 啓仁	竹内隆	田中 義人	伊達隆	磯田龍一	佐名木幸子	榊政信	原田 芳男	森下 義照	鈴木 芳幸	盛多 勝美	阿部 和則	二島喜古
第1回 定例会															
可	地方卸売市場設置管理条例の一部改正	0	0	Δ	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0
可	平成 26 年度一般会計補正予算(第7号)	0	0	_	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0
可	平成 27 年度一般会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	_	0	0	0
可	平成 27 年度国民健康保険事業特別会計 予算	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	_	0	0	0
可	平成 27 年度後期高齢者医療事業特別会 計予算	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	_	0	0	0
可	平成 27 年度介護保険サービス事業特別 会計予算	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	_	0	0	0
可	特別職の職員の給与に関する条例の一部 改正	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	_	0	0	0
可	地方教育行政の組織及び運営に関する法 律の一部改正に伴う関係条例の整備	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	_	0	0	0

長

長

総合政策課

商工観光課

会計管理者

学校教育課 社会教育課

部改正議会委員会条例の

条例の改正

出納室長(兼)

建設課 水道課

総務課

税務課 住民環境課 福祉医療課 農林課

副 町

議会事務局

監査委員室

農業委員会事務局

選挙管理委員会

育 教

り、

常任委員会の所管課

を整理しました。

課制に移行したことによ

改正です。

長

「部制」から「課制」に

議会の発議による条例

町

を2月27日に開催しまし 平 副町長の選任に同意し 成27年第1回臨時 1 臨 時

ました。 副町 長選任の同

することに同意しまし 61 教育長の窪田栄さん を副町長に選任

りました。 円となりました。 歳入は、

基金積立金としました。 金積立金とふるさと応援 それぞれ財政健全化基

第2回 臨時会 平成26年度一般会計補正予算(第9号)のほか1件の条例制定と平成27年第2回臨時会を3月26日に開催しました。 2件の条例改正と教育長の選任について審議し、すべて原案どお り可決しました。

補正予算

9号) は、1億1864 を100万円の増額とな 円、ふるさと応援寄付金 交付税が1億1764万 総額7億7291万2千 万2千円の増額です。 般会計補正予算 国の特別地方 第

など課の統廃合が行われ 住民環境課や福祉医療課 9 総合政策課が新設され、 条例で定めました。 及びその分掌する事務を 課設置条例の制定 課に再編成しました。 これまでの3部12課を 再編を行い、課の設置 組織の見直しにより、 制 を廃止して、課

条例の制定

のです。

防災会議条例の一部改正 改正では、 担当課の名称の変更を行 など8つの条例改正は、 しました。 町職員給与条例の一部 部長職を削 除

備に関する条例の制定課設置に伴う条例の設

び統廃合により、関係条の廃止並びに課の新設及 署の名称等を改正するも 例の規定にかかる所管部 る町長の執行機関の部制 課設置条例の設置によ

うものです。

しました。 に田中洋子さん

合わず、

流会となりまし

方税法の一 第3回臨時会は、

部改正が間に

国の地

 $\widehat{56}$

部改正) は、 条例等の一部改正、 予定していた議案



新設・統合された住民環境課など

教育長任命 の 同 意

第 3

臨

時

3

月31日に開会予定

を任命することに同意 教育委員会の教育長

専決処分とすることにな 国民健康保険税条例の 計画税条例の一部改正、 町長による (税 市

111

111

平成 27 年度予算案

成多数で可決、 新予算スタ

特別会計合わせ 97 億 4629 万円

ジットカード払いは可能 いるが、 常に良いことだと思って かどうか。 されるということで、非 払いが4月1日から開始 海外からのクレ

ど5種類のカードを使う メリ るというシステムになっ 由 ターカー (Α ことが出来る。これらの いる。 人の方であれば、 ・ドを所持している外 カンエクスプレスな インター クレジット決済す VISA·マス ド・ J C B、 ネットを経 イン ア

に考えて行かなければな 況にある。 ない課題だと認識して 郊外については

ことは可能である。

らいクレジット決済する ターネットに接続しても

> 停をもっと使いやすく、 郊外へも。 Q じゃがりん号の

Qコンビニ・クレジット

します。 され、採決に当たっては討論も行われました。

4日間にわたる予算審議では

特別会計合わせた総額は97億4629万円(同1・0%増)です

一般・特別会計全般に対し多くの質疑が出

以下、その主な内容を紹介

議会最終日の3月24日、賛成多数ですべて原案どおり可決されました。

般会計と水道事業などの6事業の特別会計の予算案が

十成27年

度の

予算額は一般会計が75億1300万円 (対前年度比2・4%増)、

般

が 50 るが、 ては、 も らず検討を重ねていく。 性についてはバス停に限 いったサポート は延長するのは か今後の課題として利便 している。 ところのポイントに設定 しあり、 現在、 スとして住民にどう 施設・商 バス停の配 分程度というデータ 主な病院関係・公 1周にかかる時間 2台運行してい 今の体制 まちなか循環 店街といった ができる しい状 の中で

早々に検討し A 記念品に係る取扱い いた方へのお礼の内容は。 と応援寄付をしていただ Q 々に検討していく。 本町を想ってふるさ 平成27年

態は。 るマイナンバ Qマイナンバー制度によ 1 の)利用形

する。 により、 それぞれ持っているが、 ゆる機関が一人の情報に 災害対策分野で使われる。 社会保障関係・税関係 これらの情報については、 個人番号が付されること 対してさまざまな情報 元化され利便性が向 自治体含め これらの 国 情報が 0 あ

4億8884万円

(6.5%)

繰出金 貸付金 5億9062万円 人件費 1500万円 (7.9%)13億4636万円 (0.2%)(17.9%)公債費 6億7868万円 (9.0%)その他 普通建設事業費 投資的 経費 (11.9%) 8億9105万円 . 出 歳 消費的経費 (11.9%)75億1300万円 物件費 4億8829万円 (19.8%)補助費等 (71.0%)12億5811万円 (16.8%)維持補修費

扶助費

7億5192万円 (10.0%)

事 業 名	当初予算額	対前年比
国民健康保険事業	6億3812万円	△1.3%
後期高齢者医療事業	1億5675万円	△3.9%
介護保険サービス事業	409万円	7.1%
公共下水道事業	9億4225万円	△7.6%
地方卸売市場事業	621万円	0.7%
水道事業	4億8586万円	3.0%

事 業 名	当初予算額	対前年比
国民健康保険事業	6億3812万円	△1.3%
後期高齢者医療事業	1億5675万円	△3.9%
介護保険サービス事業	409万円	7.1%
公共下水道事業	9億4225万円	△7.6%
地方卸売市場事業	621万円	0.7%
水道事業	4億8586万円	3.0%

原田議員の反対討論

田

中議

買の

賛

成討論

①一般会計予算②国民健康保険事業特別会計3

今年の予算には、中学校卒業までの医療費の無学年の予算には、中学校卒業までの医療費の無料化や合同墓の調査費計上など町民が願っていたといった。フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物洗口の実施、エリアマネジメないこと、フッ化物によるではと疑義の目が向けられるものではというではというではというではというでは、中学校卒業までの医療費の無する。

な町民要求が寄せられている。 除発の防災計画や子どもの教育、除雪など切実

らざるを得ない態度である。多くの問題については検討する気がないと受け取り学校卒業までの医療費無料化は実現したが、

らしを守る施策を実施することを求める。
世打ちに厳しい抗議を町としてすべきであり、暮帯1万円の引き下げを求める。国の住民に対する3倍となっている。暮らしを守る観点からも1世帯が多いことから、他の社会保険と比べても2倍帯は多いことから、他の社会保険と比べても2倍国民健康保険の加入者は、比較的所得の低い世国民健康保険の加入者は、

ざまな危惧に耳を傾けようとしない。める委員長を廃止し、町長は新法にこだわりさま教育委員会のあり方では、教育委員の互選で決

反対討論とします。以上、新町長の船出を危惧することを申し述べ

立場で、西江町長を応援したいと思う。

これをもって私の賛成討論とします。

算も充実してきていることなどを見ると賛成する

般会計予算全体に関しては、児童福祉等の予

ど予算が組まれていることが評価できる。75億円規模の予算で中学校までの医療費無料化な一般会計予算に対して賛成の立場で討論します。

実施設計に入るという段階では意見を付して参りのために一時予備費に積んで議会の関与を示し、現給食センターの建設費等も計上されている。
明給食センターの建設費等も計上されている。
は、早急に対応しなくてはならず、その進め方には相当気を配って進めてもらいたい。今回の給食は相当気を配って進めてもらいたい。今回の給食センターについては、実施設計の予算を中身精査は、早急に対応しなくてはならず、その進め方にはあるだし、依然として厳しい財政状況にあるこのただし、依然として厳しい財政状況にあるこのただし、依然として厳しい財政状況にあるこの

を強く求める。
しつかりと進めてもらうことするが、今回の建設費等、今後は議会・住民にわ新町長の意志を反映する時間がなかったかと推測系町長の意志を反映する時間がなかったかと推測ことを切に願うところだが、今回の予算は、西江こういった考えの上になりたった予算ではない

pprox議会を傍聴してみませんかpprox

6 月の定例会は 6 月 1 日(月)からの予定です。

議会はいつでも、どなたでも傍聴できます。

倶知安町のホームページ内に「倶知安町議会」のコーナーがあります。 ここでは、議会のしごとや常任委員会のしごと、議会の日程・質問内容、議会の傍聴などに ついて掲載されています。是非ご覧ください。

倶知安町ホームページ http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/
◆町の紹介「議会」

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 TEL 56-8016(直通)

定例議会冒頭での町長・教育長の行政報告、今回は平成 26 年 11 月 16 日から平成 27 年 2 月 15 日 までの3カ月間の状況報告です。以下、その中の主な項目について掲載します。

民生部関 連

れを追ン計

来すった

ずり、

水すか

況

行政報告

は 12

月 末

0)

上4 回28

m

と昨

介護保険料の

営されている。 る方法 村の原理を成立。 成 21年4 この原則に保険業務

町険料ま緩 保 きたいと考えてい 村と協力して進めい連営の健全化を構成れしてきた経過を踏即してきた経過を踏にかけた介護保証を開めて次期の保険がある。 る。

1月に入ると雪の降る日が断続的に続いたを超える日が断続的に続いたを超える日が多く、雨などの影響で積雪深が2がった。また、低気圧のかった。また、低気圧のかった。また、低気圧のが雪により町道西3号状桑八幡線と西6号富大桑八幡線と西6号富行った。

の累積降雪量が7·86mた天気が続き、15日現在2月に入り落ち着い となって

(教育) (教育)

クロスカント

ij

月の

|学校教育関

見込みであり、新2年生名で5学級編制となる度の新1年生が154度の新1年生が154

旬に初雪があり、一

旦 月

度ズは中

今シーズンの雪の状況

新年度の学級編成状況

のン 41と cm 比

の41㎝の降雪量だった。ンと比べると半分程度無くなるなど昨シーズ

低も見受けら 9通行に支障 が、排雪作業が 上雪量の累 てい し、町 3 は タートさせたいと考 年生は119 127名で4学級 、4学級で新学期をス費による教員を任用年生は119名だが127名で4学級、新

障害児学級が新設さ級指導教室のほか、京知安小学校に言語の る予定となっている。 知安小学校に言語の特別支援学級では、 言語通供

ている。
でいる。
にいる。
にいる。
にいる。
にいる。
にいる。
にいる。

全道・全国大会への出場

競技は、中体は さ 2 れ 月 月に全国 連の冬季スキ 1月に全道大会 |大会が開催 j

催され、男子3名、17日まで歌志内市道大会は、1月4日 全道大会は、本10日から3日間れ、男子3名、が出場したが、でら全国大会出場らなが、で 1名がスラローム3位、 3名が出場し、 アルペンスキ れ、男子3名、女子まで歌志内市で開 山場とはな 、 残念なが な子1名 3年女子 日から Ì

で青 全国大会では、 会出場を決めた。 ム6位に入賞し、 2月5日から8 森県で開 アントスラロ

置の検討や、指導に必要編制に基づく教室の配各小中学校では、学級

制 定 め さ 防 正 基本方針 の

をする ら 専門委員会で意見をも i, Z れた後、 教育委員 1月27日に決定し 本方針の策定

止基本方針に基づき、T各小中学校のいじめiた。 ども 等と連携し、 るよう学校、 0 ない社会を実現でき たちの中でいじめ 家庭、 推進して 地域 8 子防 11

から3日間開

本町で1

は たちのつどい

■社会教育関

連

のつどい」が、 成 人記念式典「は 1月11 たち

> 4名の新成人が出公民館で開催され、 出 席 1 し 0

全

寅大

1

行われた。を含め、盛大かつ厳書 ご家 族 P 来 賓 0 粛に 方

、気温が高いら8日ま

子ども派遣員派遣 事

でスラローム5位、ジャションの中、攻めの滑り ションの中、攻めの滑りく滑りづらいコンディ

イアントスラローム5

古内町、 を訪問した。 3 日 1 新幹線」をテーマに 問月 - 8名の特派員が13日から15日の 13 青森市、 盛岡 15 市木がの

値入賞という立派·

な成

町並み等を取材した。駅の様子やその周辺の新幹線の利便性、新幹線 し通常の列車との比較、 実際に新幹 線に 新幹線 乗

Щ 原脩記念美術

小

たが、昨年1月にご遺族から寄付の申し出があり、今後の購入計画にあり、今後の購入計画にある作品のうち、『天』及る作品のうち、『天』及る作品の奇増をいた。 点 への作品を購込を 入して ま で に き 37

ご遺 示していく。 美術館にて管理 族 0 意 思 に 添

期4年

間

35件の

調

三人公。 下

務常任委員

したが、 論が出せるよう期待して が、老朽化が進む前に結 に委ねることとなります には至りませんでした。 の懇談などを重ねてきま 現地調査や古平町への視 校跡利用」については、 論してまいりました。 査事件を抱え精力的に議 今後は、新しい委員会 その中でも「東陵中学 町内会連合会役員と 方向性を見出す



結論が急がれる旧東陵中学校

援事業計画では、 どもプランの概要が説明 年度を目標に私立幼稚園 そのほか、倶知安町子 子ども・子育て支 平 成 30

厚生文教常任委員会

平成27年度着工を予定し 成28年10月完成、平成29 の建設は、12億6千万円 年度予算と施策の説明を 及び民生部所管に係る新 理方法の説明を受託事業 視察を実施し、ごみの処 して進められる予定です。 年4月からの運用を目指 程度を予定しており、平 ている学校給食センター 各担当課から受けました。 者から受け確認しました。 ター新プラント工場」の みを固形燃料化する施設 「琴平リサイクルセン 3月2日、教育委員会 12 月25日、 燃やせるご

説明を受け、 めに必要な経費の予算計 療費無料化を実施するた また、中学生までの医 関連条例改正等の 質疑が行わ

本計画の策定について精 3月議会で付託された

る内容の説明を受け、 2歳児の受入数を増加す 3 園は認定こども園へ移 発な質疑が行われました。 行、保育所を統合し0~

済建設常任

修正し、 例の一 町提案の3年から1年に ら3月まで計7回行い、 のあり方と抜本的な改革 市場使用料の減免期間を 地 れました。 て3月議会で修正議決さ を求める付帯意見を付し 視察を含む) 方卸売市場設置管理条 月議会で付託された 部改正の 公設市場として を1月か 審査 (現

る新年度予算と施策の説 発な質疑が行われました。 を担当課から受け、 また、経済部所管に係 活

倶知安町総合計画後期基 審查特別委員会

知安町総合計画後期基



た。 により原案可決されまし 最終日に委員会審査報告 力的に審査し、 3月議会

地 する特別で域医療の際 ではいる。

ら受けました。 の報告を医療担当部長か 主な内容は、 3 後志地域の医療体制 月9日開催の委員会 岩宇地

区

どです。 新規分娩の取り扱いを中 増加していること、小樽 協会病院が27年7月から 厚生病院への救急患者が 止する予定であることな の救急体制の縮小により

倶知安地方卸売市場の視察 との説明を受けました。 数増加にも対応できるこ 取り扱い中止による分娩 樽協会病院の新規分娩の 保されるので、当面、 科の医師の体制は常勤医 あること。また、産婦人 が、平成27年4月から常 不在の状況となっている 1名を含め2名体制が確 医が配置される予定で 26年12月から平成 外科常勤医が

は1億4千万円で、平 への支援は、

特別委員会 議会改革に関する

どが主な改善点です。 調査視察に関することな 関する手続き、 化を行いました。 た申し合わせ事例の明文 いは変更して実施してき る中、これまで検討ある に関する手続きや運営、 今議員の任期満了が迫 一般質問 出欠に

で2億円、本町の負担分 き続き羊蹄山麓町村全体 平成25年度分の厚生病院 昨年度に引 小 とから、次期新体制から 会を設けた実績があるこ その所信や抱負を聞く機 を決めました。 する機会」を設けること る者の所信や抱負を表明 志願する議員に対して、 非公式でそれぞれの職を 長・副議長の選挙の前に でしたが、4年前に議 て取り決めがありません て、 「正副議長になろうとす 次期においても、 正副議長選挙に関 新たな取

続していくことを期待し 委員会を閉会しました。 改革、活性化の動きを継

政特別誓

27年度に予算計上される

ことが報告されました。

料負担割合が変更となる 担割合を変更するもので 業に要する経費の町村負 ことを受け、 保険制度改正により保険 質疑が行われました。 から説明を受け、 変更内容を保健福祉課長 主な内容は、 3 後志広域連合規約 月9日開催の委員 地域支援事 国の介護 活発な

の 件 般質 問 義照 議員 森下

未来につながるまちづくりをどう実現するのか

町長:6つの柱で町民と一緒に未来をつくっていきたい

に町民に浸透させ、 くのか具体的にし、いか

信頼

し合い、つながり合い、

を築き上げようとするの

に満ちた郷土・倶知安町

協働して夢と希望

現力の発揮を示そうとす えて頂きたい。 の目線に立って是非かな る姿は素晴らしい。 ふれる気概を持って、実 公約の子育て支援策、 森下 当選され、 若さあ

町長選挙で見事

づくりをどう実現してい 町 支援策、 高い暮らしと文化がある を町政執行方針に盛り込 るが、今、町民が望んで 実現力でそれぞれの公約 いる声をくみ取り、 に向かってなど述べてい 農業支援策、観光商工業 高齢者・障がい者支援策 ふれあい豊かに質の 未来につながるまち 行政改革、 若き 未来

の動きとの関係の中で、われ、他の地域や国全体境の中で日々の生活に追 地域だが、 学的にしっかり理解し、 1, 報の中に身を置いてしま すると日々の新聞やテレ 自ら地域の事を考える機 四季の移ろいを感じれる らしい自然環境に恵まれ 尻別川に代表される素晴 その核心によって地域角 ままに過ごしがちである。 ビで流れる全国共通の情 会が少なくなり、ややも 度 地域の事を考えない 地域の特性を科 普段はその環

である。 の地域を知る力と分析力 していくためには、 べたように、それを実現 作りたい。そのことは、 緒に輝く倶知安の未来を 向 政 農業支援、 を身につけることが重要 先の町政執行方針でも述 商工業支援、 かってを柱に町民と一 六つ目に未来に 兀 五つ目に行 つ 目に観光 自ら

峰羊蹄山やニセコ連峰、我が町倶知安町は、そ 秀

を知り、

よりよい

・町を創

の町

づくり、 参加できる住民参加型のい人達がもっと積極的に ちづくり、 ら、 上に、これからを担う若 ことである。これまで以 にまちづくりを実現する 夢を語り合えるまち 心の通い合うま みんなで一緒

の魅力や新たな価値

昨年のまちづくり懇談会の様子

を聞き、 今ある課題や未来に希望 課や係の垣 膝を交えて直に町民の声 地域に積極的に出向き、 きたい。そして、 信頼される役場にしてい しての役割を担うととも ために働く意識を徹底し セールスや職員は町民の たまちづくりとなる。 次の世代に向けた開 まちづくりを行うことで また、後志の中核町と 町長としてのトップ 解決策を探し、 根を無くし、 もっと かれ

が主役である。

町民一人

一人の声に耳を傾けなが

ての基本姿勢は常に町民

なる。そのため、

町とし

着や誇りを持てるように

とにつながり、

やがて愛

造する発想を生み出すこ

たいと思っている。

知安の郷土を築いてい実に実践することで、

て 取

り組む。

これらを着

倶

い者へは各種助成の増加、取り組み、高齢者・障が実現、町営住宅は整備の また、農業支援は、 入っていた。 いろと取り組む内容が ついても増額とか、いろ くりとその他の対応策に 生までの医療費無料化 て支援に対しては、 方針の中に、 今回の町政執 土づ 中学 子育

会広報が各戸に届く。そ質問することによって議が伝わらないので、一般民に町政執行方針の内容 れを読んでもらうと、な会広報が各戸に届く。 てこの町政執行方針の中 革も打ち出されていた。 積極的に町政執行をやっ や参加意識が強まると思 しているのかわかる。 倶知安町は何をやろうと から取り上げたのは、町 そういったなかで、 町民がわかれば、 行政改革は役場内の改 あえて取り上げた。 あえ 今

支援、 ンに、 障がい者支援、三つ目に るまちづくりをスローガ 二つ目に高齢者・ 一つ目には子育て

、若者が躍動すお年寄りに優し

する力と自信につながっ 度の目標がみつかり実践

かって、職員一丸となっがあるまちづくりに向

少子高齢化、

国際化、

鈴木 芳幸 議員 般 質 の

文化福祉センターにエレベーターを

町長:総合的に考え、 設置は非常に難しい

と思う。

いと考えている

が展示されれば、見たい

ると思う。私も孫の作品 と、強い願いを持ってい 孫さん等の作品を見たい できない。

お年寄りの方は特にお

た方、また、お年寄りの あるが、障がいを持たれ などの展示される催しが

方が2階へ上がることが

建設され既に40年以上が9年に には、 う名称がついているから 経過し老朽化が進んでい 何とかぜひお願いをした はかからないと思うので、 ベーターを、大きな予算 の福祉センターにエレ そのことからも、ぜひこ 建物であるべきだと思う。 祉的ものが備わっている 町長 文化福祉センターとい 中身、建物等も福 文 化 福 祉 セン

> 検討してきたが、 でも町長部局と教育委員 エレベーターは、これま 誰もが快適に利用できる どからバリアフリーに対 の動線や建物の構造を考 する意識も大きく変化し 利用者のニーズの変化な 会がさまざまな観点から ことが求められている。 利用者

も達の絵、習字、

工作物

子ど

してもらいたい。 このセンターは、

福祉センターにエ レベーターを設置

えると、 年間約70万円と見込まれ 3階及び2階の一部のス のメンテナス経費として、 約7000万円で設置後 概算だが、 る。設置にかかる経費は、 ペースが使用不可能とな 方法はなく、その場合も 建物内部への 工事費として 外づけしか

ーターの設置は何とかならないものなのか

があったので、その何ら 何らかの方法という言葉 必要ではないと思うが、 う。そんなに大きな金が ものでなくてもいいと思 なことを考えているのか かという方法はどのよう ホールへ向けて、 いる玄関2階の 渡り廊下になって 立派な

円ほどかかるということ けになっても7000万 町長 るとなると、外づ 3階まで含めてす

現在の財政事情からは、 てい エレベーターの設置は非 これらを総合的に考え

ŧ, 設置し文化センターと接 な施設にエレベーターを とから、その時点で新た ばならない時期が来るこ の方向性を検討しなけれ 代交流センターや絵本館 る。 常に厳しいと認識してい な手法を模索していきた 続させるなど、さまざま 将来的には隣接する世 建てかえを含め施設

> じていきたい。 あわせる方向で対策を講 をつけて、つなげる方法 るときに、エレベーター 将来的に世代交流 と思っている。 であ そこの施設の建てかえと 険だと言われているので もかなり老朽化して、 がベターだと思っている。 ターや絵本館を建てかえ 今の世代交流センター り、 お金が か かるな セン 危

般質問 盛多 勝美 議員 1件の一

新駅周辺整備のための資金の確保が必要では

町長:新幹線倶知安駅整備基金の設立も視野に入れ検討する

あと

カウントダウン(後志総合振興局内)

どが最優先であ

Ď,



駅や高架橋、架線方針でも述べている。 向けた作業を進めていく おいて構想や整備計画に まちづくり検討委員会に 本年度も引き続き新幹線 要望活動の一層の強化と 確保と早期完成に向けた ということで、町政執行 ・ル等の設置等の事業 業に向けて国の予算 道が負担し、

役場前玄関の看板の開 町長

年前倒しが決まり、北海道新幹線の5

が必要と考えるが、 額の財源が必要と考える。 ないようだが、将来に多 ういう規模か決まってい はどう考えているか。 立 そのために今から目的積 |金のような資金の確保 町長

らの交通アクセスは、 2回開催、

委員会では、

負担になる。 駅周辺の整備や国道か の負担の一 部が 本町

いうことで決まった。

定が5年前倒しと

ている。 が負担しなければならな1を建設負担金として町 より金額に差があるもい。また、手法や規模 ルなどの建設費の 北海道新幹線建設では 途区域内の駅舎や 手法や規模に 30分の の

前広場や駐車場などに財の、駅周辺整備として駅 地再開発事業の方向性な 公共施設の再配置や市街 ドデザイン、老朽化した あわせた倶知安のグラン 源が必要になってくる。 まずは、 新幹線整備と

要望活動 図っていく。 後も予算確保などについ 予定年次も更新した。 新幹線まちづくり 沿線自治体とともに 0 一層の強化を 検

ゆる新幹線倶知安駅整備がら、目的積立金、いわそれを優先的に検討しな れ検討していきたい。等基金の設立も視野に入 かなければならないので 手法や規模を決定してい 検討委員会も 勉強会を2 議論を深め 整備 くつちゃんに新幹線がやって 新幹線俱知安駅開業予定 188 90 W. SR 利益 一条 內 四 四 北海道新幹線に 乗りたいね! 北海道新野田 WELL BURNES

役場前玄関の看板も 2030 年開業予定に更新

樋口 敏昭 議員 般 質 **(7)**

後志中核地として人口増を維持する必要がある

町長:子育て世代の定住対策、 移住対策を進める

③雇用もなければ人口増 思うが、具体的な対策は。 用者の希望を充足させつ でいこうと考えているの 行政としてどう取り組ん ら、新たな雇用の発掘に 加に結びつかないことか も配慮して進めるべきと 程度おそい時間帯まで利 ②保育時間の延長、 どう進めていくか。 保育士の労働環境に

においても存在している。 な社会問題となり、本町 定したところでもあり、 た空き家・廃屋が全国的 町長 化により放置され ①人口減少や高齢 空き家条例を制 予防ととも

> 空き家対策も、 なく幼稚園や無認可保育 立の認可保育所だけでは 推進できる体制を整備し 固有の課題や実情に応じ 保育子育て支援の質 ②本町における幼児教育 つながると考えている。 定住対策、 進めることが重要であり て支援事業に沿った展開 所事業にも子ども・子育 ていきたいと考えている。 て子育て支援が総合的に た保育所整備など、本町 子育て環境にも配慮した 部署との連携を密にして 充実を図り、老朽化し 本町の延長保育は、 移住対策にも 総合的に 公公 量

③建設業などに多い季節 ポート事業を含めて検証 労働者に対して、羊蹄山 していきたい。 人的確保やファミリーサ 労働環境の観点からも、 を進めながら、 保育士の

ど優遇策等についても検 討する必要があり、 ているが、 に今後の対応策を検討し |代に対し賃貸や譲渡な 空き家バンク 麓季節 努力も行っている。 節労働者の通年雇用化の 得の補助を行うなど、季 進協議会において資格取 企業誘致は、 労働者通年雇用促

0人台になるとの推計が

樋口

本町も2040年 人口が1万200

きたい。 導き出すことはなかなか でいるが、 引き続き努力を続けてい 難しい状況となっており 情報収集などに取り組ん 置し本町への出店企業の 企業誘致促進協議会を設 直ちに結果を 倶知安町

長に3点伺う。

そういう観点から、

町

住宅政策、低家賃住宅を ①子育て世代に配慮した があると思う。

いて、福祉、子育て関係 家等対策計画の策定にお

も増加を維持させる必要

ためにも、微増であって として発展を続けていく 出された。後志の中核地

くものと考えている。 後の雇用の拡大に結びつ 通年化に向けた努力が今 大きいため、 る入り込み客数の変動が 観光産業は、 観光事業の 季節によ

②保護者のニーズも常に うな体制をとっていける 新しい希望を町でも取得 変わっていくので、常に 伺いたい。 みたい。その取り組みを しながら、 いる姿を一日も早く見て 若い人で町の中が溢れて していくということだが、 樋口 進めながら検討を ①空き家対策等を 応えられるよ

> かなか合ってないと考え 求めている人の希望にな ③求職している人、 職を

要だと思うが、行政とし 策をとっていくのか。 たときに、どのような対 て支援が必要だと判明し

られる。 るものなのか、分析も必 ここに支援対策がとれ



老朽化した保育所は本町固有の課題

ていく。 ③働き手側と雇い側のほ ②延長保育は人的確保、 題を踏まえながら対応し 労働条件、有資格者の問 と思っている。 かりしなければならな 町長 ような施策をしっ ①若い人が住める

いと思う。 た取り組みをしていきた ②限ら

れた職員

体制

のな

4件 般質問 啓仁 笠原 の

「役場機構改革」 その最大の目的は

町長:町民目線に立った利用しやすい役場をつくる

るのか。 部長制をどう総括していからなのか。これまでの うことは、それが「弊 が部長制を廃止するとい 事をしてきた。その町長 ②部長制の廃止を含め、 制のもとで職員として仕 ①町長はこれまで、 る機構改革の目的と特徴 ようだが、予定されてい 役場機構を大きく変える 害」だったと感じている 部長

いる。 に執行してきたと考えて 機能させ事務事業を円滑 所管する各課を効率的に ではない。各部長それぞ 役割分担のなかで、 否定しているわけ ①現在の3部制を

に向け機構改革を行って用しやすい職場環境構築 ある課の事務分掌を精査か、部長制を廃止し現在 合するなど、 め関連する事務分掌を統 いきたい。 町民目線に立った利 窓口業務も含 利用しやす の考えはあるか。

構築していく。 に対応すべく組織体制を く多種多様な住民ニーズ

改革について、以下の点 をどう考えているか。

予定の新たな機構

4月からスタート

笠原

本町として反対すべ「原発再稼働」

は再稼働に反対すべき」②「計画が不十分なうち してみてはどうか。 入れて本町の計画を検証 の質問に対する担当課長 ていきたい」これは、私 ためにも一度、専門家を のこれまでの答弁だ。 まだ十分なものではない。 「よりよい計画」を作る よりよいものにし

対象自治体となるよう、③本町も「地元同意」の きと思うが、どうか。 原発の再稼働に反対すべ 位置する本町として、泊 生活や環境などすべてを べきと思うが、町長にそ 道や国に対し強く要求す 破壊する。 長に言ってきた。原発は、 とこれまで何度となく町 30キロ圏内に

画等を検証・修正しなが

き

1 分避難計画はまだの原子

11

無線、広報車などで周

知

(1) 今後実施する訓

証は現時点では考えてい

いかどうか。

3

「落雪見回り隊」

よる事故防止対策。

発は新たに作らない、既は基本的には廃炉だ。原の発に対する私の考え 再稼働に同意すべきでな の柱が達成されない限り きな柱と考え、この2つ の開催を再稼働容認の大 どが主催する住民説明会 画の一通りの完成と国 早期に廃炉処理すべきも いと考えている。 のと考えている。 にあるものは可能な限り 避難 き な計

び生命、豊かな自然、食置する本町町民の身体及③泊原発周辺自治体に位 地元同意の対象自治体との安全等を守るために、 なるよう働きかけてい

きめ細かな対応 「子育て(ち)支援 を

1

幼保一体化·認

②絵本館・世代交流セン 新たな子育で制度スター ているか。 する支援策等はどうな 状況、民間3幼稚園に対 トに向けた諸準備の進捗 笠原 定こども園を含む

きたい。専門家による検 らより良いものにしてい ĺ

る環境づくりに努めて 援を進めていく。 稚園の支援は、 設の整備は、

整備を未然に防ぐ体制の「落雪事故防止」 の

屋からの落雪は重大な事 空き家や居住している家 号などの構造物に限らず、 故につながりかねない。 笠原 とって、 豪雪地帯の本町 電柱、

育ち」環境の整備をどの ように考えているか。 充実など、今後の「子 放課後児童クラブ ①落雪事故防止に向けて ②居住家屋からの落雪に 実施している現在の対策。 はどうなっているか。 事故防止に関し以下の

後児童クラブは、専用スは今後、スピード感を抜本的な再構築について ②老朽化している絵本 護者が安心して就労でき ペースの確保を含め、保 として平成30年度開設を **子ども園の開園に向けて** 方、本町の公立保育施 標に進めていく。 画を進めている。 稚園は現在、認定の町内の3つの幼 統合保育所 独自 3 幼 1の支

ページや広報、防災行政事故防止を町のホーム②倒壊防止、落雪による 要項」を策定し、町建築物等に関す 者に適正な管理を指導す 家に関しては、危険と判指導を行っている。空き 断した場合、 雪問題を回避するため 認申請時に建物による落 とした考えで、 町長 19自己敷地内で処 建物の所有 関する指導 「倶知安 建築確 0

のボランティア体制の 会の「チョボラ隊」など ③琴和町内会や六郷町 している。 充などを推進していく。

ついて、

町長はどう思う

町村への同意権の付与に

れている。30キロ圏内市

ける法案が国会で協議さ

や再稼働の同意を義務づ

市町村の原発稼働 ①原発30キロ圏内

竹内

②意思を形成する一つ目



竹内 議員 隆 般質問 **(7)**

再稼働の同意権」 「原発稼働 • への付与を 圈内市町村 う 思

町長:本町の意思を表明できるので法案成立を願っている

合には、 せていくのか。 働についての町としての ②同意権が付与された場 意思をどのように形成さ 原発稼働・再稼

的な意思を反映できるこ 立を切に願っている。 とになるので、法案の成 法案が成立することにな 協議と同意を義務づける 一方、現実的な取り 本町としても具体 内の自治体に事前 ①UPZ30 キロ 組

後志圏に拡大、さらには の妥当な範囲と考えてい される後志全体をUPZ りも影響を及ぼすと想定 していきたいと考えてい 後志全体の同意権を要求 るので、UPZの範囲を

により形成されるものと 不同意はこの二つの要素 もとに訓練し、課題を見 が一通り完成し、それを 画 大きな柱となる。同意、 が主催する住民説明会が イクルが整うこと。 つけ、修正するというサ 要素は、 二つ目の要素は、 避難等措置計画等 原子力防災計 国等

考えている。

エリアマネジメント事業

てこの中の最後の部分の はどう応えていくつもり たいと思います」に町長 けて、さらなる協議と合 ち上げと事業の推進に向 意形成に努めていただき とめをどう思うか。そし て」という福島町長のま 「地域として、組織の立 竹内 メント事業につい 「エリア・マネジ

多角的な視点に立った対 ジメント事業の財源を地 識している。 応が求められていると認 町長 重要な案件であり 本町における大変 エリアマネ

条例の趣旨、 ている。 特に受益者の範囲や受益 と負担の関係が現時点で 制度の趣旨を踏まえると、 は不明確であると判断し か道等に相談してきたが、 として徴収できるかどう 方自治法の受益者分担 福島前町長のまとめに

仕組みを目指していきたけていけることができる 住民とがうまく転がし続 のためには、 とながら、 財源確保の手法もさるこ ことが必要だ。安定的な 再整理をしっかりと行う これまでの検討経過を踏 対しては真摯に受けとめ いと考える。 まえ、まず行政としての 政策目的達成 地域の実態 行政と地区

ゴミ焼却施

みとして、

同心円で設定

したUPZ30キロ圏内よ

去が約束されている。町が締結されて、施設の撤 ていくのか。 地との「協定」 としてどのような形で現 地の住民との間で協定書 竹内 伊藤町長の時代に現 旭地区にあるゴミ 焼却施設について を実現.

ため、

8時から18時まで

の利用時間と同様にする

利用

時間を学校休暇期間

となった土曜日 新年度からは懸

町長

の時間延長を行い、

に基づき2人体制で子ど

後支援員1人体制を条例

学童保育

策が新年度に予定されて 童保育に対する町民要望 本町でも保育延長など学 いると新聞報道された。 での保育延長などの改善 竹内 童保育の6年生ま ニセコ町では、 学 は3月6日で終了してい 清掃センターの焼却施設 理の民間施設移行に伴い 今年3月2日の可燃物処 で行っていない。 するという規定だけであ る期限は平成26年度末と 処理施設で焼却処理でき 第4条では、 施設の撤去の約束ま と締結した協定の 現地の旭1親睦会 一般廃棄物 なお、

が強いが、

町長はどう考

えるか。また、土曜日保

ら1カ所に集約されたが 育がこれまでの3カ所か

燃ごみ、 ては、 総合的に検討していきた 処分場のあり方も含めて サイクルセンター、最終 理施設はそのまま使用す センターについては、不 焼却施設の解体につい 焼却施設廃止後の清掃 破砕処理施設やリ 粗大ごみ破砕処

ているので、効果的な安 で行うこととした。児童 全基盤を充実させるため 合わせて30名程度となっ 曜日利用者数は各4カ所 ととした。 も達の安全確保をするこ また、児童クラブの

て就労できる環境づくり 状況と受け止めている。 りしている。大変残念な の小学校では募集をお断 おらず、3年生にも一部 から全学年の募集はして クラブのスペースの関係 元的に北児童館1カ所 今後、保護者が安心し

の 龍 件 般質問 磯田

公約の実行当面の課題は

町長:6本の柱を公約とし、町政の舵取りをしていく

向き合うか。 社会の進展を見据え、集 ②急速に進む少子高齢化 ビジョンと抱負。 ①公約の実行に向かって ついて伺う。 落での対応と支援にどう あることから、 の健全化が重要な課題で 予算の効率化を図り財政 より一層の選択と集中で 厳しい本町財政の中、 次の点に

④将来展望の中で、 ③財政の硬直化を廃し、 るための方策は。 来の展望を着実に実行す 当面の課題を精査し、将 基幹

まちづくりをスローガン 産業の農業の位置づけを に優しく若者が躍動する 一つに高齢者・障がい者 つ目に観光商工業支援 三つ目に農業支援 ①このたびの町長 お年寄り 均衡が図れる状態を保てるので、今後も財政健全がら、基金の取り崩しをがら、基金の取り崩しをがら、基金の取り崩しを り支えていく担い手が、④本町農業を将来にわた に立って健全な財政運営るよう中・長期的な視点 安心して農業に取り組 を行っていく。

選挙で、

一つに子育て支援、

年間の町政のかじ、柱を公約に掲げ、 を担わ 未来に向かっての6本の五つ目行政改革、六つに これらを柱に新しい発 の町政のかじ取り役 せてもらった。

西江新町長が誕生し、心

支援と支持を得て

多くの

町

民の熱い

よりお祝いいたします。

携し、 るため、 の居場所づくりの研究を 高齢者の方と子育て応援 ることは大変重要なので と人とのつながりを深め ②子育て世帯や高齢世帯 先進地の事例を参考にし とも支え合い、地域で人 に当たっていく。 を行い、今後、 総合的な取り組み 各関係機関と連 町政運営

ている。 ③本町の財政状況は、 していきたい。 中を下回っ お

公債費の増加は財政の

どう考えるか。

来の実施、農地、農業用 を中心とした輪作体系の を中心とした軸の交付金の を中心とした軸作体系の を中心とした輪作体系の を中心とした軸が があるで付金の を中心とした地域共 により、 推進していく。 整備や新たな土地改良事 施肥体系転換推進事業を るよう土 経営安定を図る 地改良施設

多くの公約を、着実に実 選挙を通し町民に訴えた

行する手腕が問われてい

た政策を積極的に展開す 想で時代の変化に対応し

性地 化域 再生法とはる公共交通で 活

資道、バ か。者の交通手段として可 ②本町での導入に対して ③郊外(集落)における、 ①制度の概要。 後押しする制度を設ける 通院・買い物難民・高齢 メリット、デメリットは。 ことになった。 バス事業者などに出年度独立行政法人年度独立行政法人 公共交通の刷新を

され、 あるいは過当競争が起き 運行時間帯がうまく分散 重複路線がありながらも ②現在本町の幹線道路で このたびの制度のねらい ている状態とは言えず、 運行している路線バスは 出資制度ということ。 ワークの再構築を担う新 事業運営会社に対する 路線の飽和状態、 地域の交通ネット ①制度の内容は、 や異なると思わ

> る制度ではないというこ 通手段の確保に活用でき 度は郊外における交



バス事業など公共交通の活性化とは

交通手段について町民と院・お買い物・高齢者の外に住まわれる町民の通 考え、整理を進めてい り方を勘案しながら、の総合的な公共交通の してではなく、 とである。 ことが大切だと考えて ではなく、本町全体部地区のみの問題と

の通郊あ

<

③北海道運輸局の見解は



佐名木 議員 幸 子 件 般質 の

文化福祉センターにエレベーターの設置を

町長:現状では非常に難しい

を車いす対応トイレへ改 う大ホールの楽屋トイレ 適に利用してもらえるよ 育て世代の皆さんにも快

では、

高齢者や子

文化福祉センター

現状では非常に難しいと 用負担が想定されるなど い状況もあり、 は外付けにせざるを得な 行ってきた。 エレベーター 膨大な費 の設置に

が寄せられているが、こ 用する方々からも、 3階図書室を利 要望

> 考えている。 所を含め検討が必要と 図書室のあり方も設置 また、隣接する絵本館

でも常に中心的存在であ

は本町の公設の中 文化福祉センター

場

幅広く活用されてい

佐名木

< 用されている。 多くの皆さんに幅広く利 た施設となるよう検討し と合わせ利便性に配慮し 設の今後の方向 ることから、これらの施 両施設とも老朽化が著し 子ども達が読書を楽しん ていきたい。 ダンス愛好者の活動にと だり、子育てサークルや や世代交流センターでは 検討の時期がやってく 将来的には建てかえ しかし、 .性の検討

ターの必要性を考えても

障がい者の方から届いて

いとの声が高齢者・身体

いる。ぜひ、

エレベー

ベーターを設置してほし

ここ数年前から、

エレ

部不 前成を-妊治療 費 の

部、階段室の手すりの設修したほか、管理棟の内

階部分のトイレの改修な

逐次施設

の改修を

大ホールや管理棟2

しなければかなわない女 の課題であり、 を望んでも、不妊治療を と思う。しかし、子ども 性も多くいる。 なければならない事柄だ 産む環境づくりは最優先 佐名木 中でも、 少子化対策事業の 子どもを 取り組ま

医療保険が適用されない。 大変高額であり、 どの不妊治療にしても しかも

> 考えはあるか伺う。 この朗報を契機にし、不 料化と、子育て家庭に 中学生までの医療費の無 治療費の一部助成をする 療を受けられるように、 妊に悩む夫婦にも明るい とって大変朗報である。 兆しとして、 費助成制度が拡大され、 子化対策では乳幼児医療 町長体制となり、 安心して治

きな負担となっているこ 町長 とって治療費は大 不妊に悩む夫婦に

て対応していく。 動きも踏まえて、 最優先とし、 佐名木 策を真剣に考えて この町の少子化対

を抱えている人が結構い 済的に苦しいという悩み 子どもを欲しくても、経 いく中に、若い人たちが

を利用してもらうことを 北海道における助成制度 るのも承知している。 妊治療をしている方がい また、本町において、 とは承知してい 国の最新の 町とし 不

> である。ぜひ町民にもっ として、助成制度が大事

と周知してもらいたい。

いたいし、人口増の一環にも子どもを産んでもら

るので、ぜひそういう方

また、 町広報で周知 町として、 部で協議し検討 十分内

らいたい。 ぜひ子どもが欲しいとい 知ってもらい利用しても う方には、この制度を



不妊治療助成制度の周知を

今後、

介護保険制度の運

改正も同時に行われる。 用料の1割から2割への

営と持続可能性を広域連

緒に考えながら進

保険料と国庫支出金等で

②国保事業は、

加入者の

芳男 般質問 件 原田 議員 の

暮らし福祉を守る町の政治を

町長:4年間の中でしっかり進めていく

所得者への減免の拡大と法律の改正により、低

一定所得を上回る方の利

はないか。

かうべきと表明すべきで

:稼働はやめて廃炉に向

電気は間に合っている。

得制

今、再稼働しなくても

が、具体的な手法は。宅建設など公約している り、駅前通りへの町営住 ③町長選挙に臨むにあた引き下げるべきでは。 ても、 る。暮らしを守るために 担が重くのしかかってい 者分が引き上げられ、負 ②国民健康保険税につい 具体的な手法は。 介護分·後期高齢

志広域 域連合において統一回の第6期から後回の第6期から後 統一保険料となっ

されるがいかがか。 当に避難できるのか心配 も指示に従って非難する 題がある。 事故が起きて また、避難計画にも問 倶知安町民が本

兼ね合いもあるが順次、③公約実現は、予算との 進めていく。 ざるを得ないと考える。 事業の安定を保持するた 賄うことが原 にも応分の負担を願わ **加
ア
カ
ア
カ
ア
カ
ア
カ
ア
カ
ア
カ
ア
カ**

以上の引き上げになり、

階層で1000円

①介護保険が基本

発に対する

三笠市

の制度につい

大変大きな負担増になる。

また、 予算、 の医療費無料化のための 中でしっかり進めたい。 3月議会で中学生まで 他の公約も4年間 条例等を提案し、

はないか。

和策などを講じるべきで

いる。

町としても激変緩

中で負担が限界を超えて 年金の引き下げなど続く

指泊 『す取り組み』原発廃炉を『 取り 組み 目

いのか。 と言っているがそれでい る。町長は、 まで再稼働も仕方が無い できない方がたくさんい 原田 未だに故郷に帰還 福島原発の事故で 条件が整う

老朽化、 ギーが確立されるまでは、考慮すると代替エネル もに、丁寧な手続きと慎 第一優先に、 国の責任において安全を 再稼働は、 るべきと考える。 重な判断のもと進められ 不安の解消に努めるとと には廃炉である。 暮らしや経済 の原 考えは基本 火力発電所 地域住民の 的私

福祉 ハイヤーの充実

は多くないし、町長も充所得制限の対象になる方 と言っている。 実について取り組みたい 30枚に戻すべきだ。 原田 刻所 も得 早く外.は、 は、

を含め、 施策など他の制度の創設共交通との連携、総合的 も視野に検討を行って どから難しい。 町長 制度自体の見直 は、所 循環バス等の公 不 -公平感・一公平感 な消 Ĺ

左側 20 枚、右側 30 枚の福祉ハイヤー券

軒先の除雪

を市が行う制度があるが、 本町でもできないか。 原田 高齢者の軒先の除雪 三笠市では、 万円程度の負担 年間

帯へは、 遣事業や町内会などの協帯へは、除雪ヘルパー派 高齢者や障がい者等の世ている。雪処理が困難な 庭に雪処理のお願いをし かできず、玄関前は各家 町長 支援も含めた処理 右に振り分けることし ので予算上、 く雪は朝除雪のも 玄関前に置いてい 、雪を

> に取り組みたい。 協議し、支援体制の 議会などの関係者と十分 は、 担当課·社会福祉協 のフ 危険性 性物 が確立

あり、 答弁していたが、 変わりはない。 フッ素そのものが劇薬で フッ素を薄めて使用する また、保護者の同意の 希望者だけにすると 薄めても危険性に 保護者

がある以上、取りやめる られていないので、 供がされていない。 まな懸念について情報提 に周知する文書にさまざ 学校教育上、義務付け べきではないか。 懸念

中毒にはならないと考えが希釈して使うので急性 よってエナメル質が形成ない状況で行うことにがしっかり形成されてい変わり時期のエナメル質 る。 園児・小学生の歯 フッ 化物洗口は、 の生え 幼 稚

榊 政信 議員 般 質 の

ひらふ高原観光中核施設の整備は慎重に

町長:地域と情報を共有し意思疎通を図って行う。

ある。 ており、 どのように行うのか。 貸し、 ④運営計画は作成されて か。町の負担する金額や ③事業規模は、どの程度 ②民間事業者の選定は、 のようになるのか。 町が買い取り、 建設する。 識しているが、パート いるのか。 ①官民の役割分担は、 ビスを行うような計画で 地契約で民間事業者に賃 連携の事業運営を想定し 進調査検討書では、官民 施設の必要性は十分認 次の点を問う、 建物は民間が設計 町有地を定期借 施設の一部を 公共サー

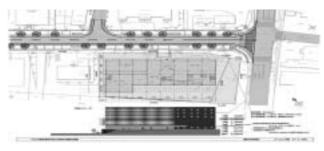
نىل

町が実施設計を先行する 安全センターなどの公共 ナーも決まらぬうちに、 町長 ションセンターや 時期尚早ではない 観光インフォメー

的サービス機能を併せ持

事業規模は、

民間のア



ひらふ高原観光中核施設の計画案

場に建設を予定している。 道道ニセコ高原比羅夫線 つ観光中核施設として、 入口の町有地の第3駐車 公共として必要な部分

込んで建設してもらいた で細部を詰めている段階 し、募集要項等を作成中 入するための事業コンペ い。今年度、定期借地権 は民間のアイデアを盛り の提示を行い、それ以外 施に向けた諸条件を整理 またはプロポーザルの実 万式による民間活力を導 慎重に行っていく。 めて行きたい。

が地域活性化につながる携も不可欠なので、施設 報を共有し、 や議会や地域住民とも情 よう配慮願いたい。 町長

お年寄りに優しい住まい

建設 暮らしを実現することを Ĭ, 地に高齢町長は、 雪の心配のない に高齢者住宅を 中心市街

ル程度を想定している。 分は2000平方メート を予定している。 国の社会資本整備交付金 公共部分の財源の4割は イデアによるが、 予算計上した実施設計 公共部

が新年度に計画され、

ひらふ高原観光中

核施設の実施設計

算も計上されている。

国際リゾート地形成推

費は、公共部分の設計費 経費の組み替えもある。 トナーが決まった時点で を想定しているが、パー

化共生型のまちづくり外国人が多く住む多文

数暮している町で外国籍の町民が多

か研究しながら進めたい。 賃補助はどの手法が良い できるよう取り組み、

地域や議会に対して十分 ある。また、地域との連 な情報発信を行うべきで めて行くと思うが、 これから計画を進

図って決定するように進 バーとの意思疎通 検討委員会のメン 意思疎通を

を説明願う。 ついては、 上げ公営住宅制度の現状 連携した動きが重要。 者と子育て世代と 住宅政策は、 どう考える。 家賃補助に 高齢 借

町長 手く繋ぎ合わせ住替え 高齢者であろうが

が借り上げ高齢者住宅と また、民間アパートを町 集合住宅に住み替える、 するという手法があるが 公約としている。 |代に賃貸や売却をして 長の見解を伺う。 一戸建て住宅を子育て

若い人が低家賃でも入居

家

間アパートを借り上げて 取り組みたい。また、 できる仕組みをしっか

民

する。また、低家賃の民 建を子育て世代の住宅と えを促進する。 者住宅を建設し、 ンケートや懇談会で幅広 討を行っていく。 たな方向性や取組みの検 中心市街地に民間高齢 意見を取り入れる。 現行施策の改善や新 現状と課題を整理 住生活基本計画 空いた戸 町民ア 住み替

げるなど検討したい。 間アパートを町が借り上

> ある。 くりが必要と考える。 た多文化共生型のまちづ 外国人の視点を取り入れ 日本人の視点だけでなく、 長の見解を伺う。 町

受けられる。交流や学び 図れる機会づくりを推 会にも外国人の参加が見 イベントや町内会の新年 も参加している。 ドブックは編集に外国人 として19年版の生活ガイ などを通じた相互理 が入った取り組 外国人住民の視点 様々な 薢

問 般 義人 議員 件 0 質 田中

施設の運営や更新を官民連携

町長: PFIやリース方式の活用に取り組む

取り組んで行きたい。 ス方式の活用で積極的に まえながらPFIやリー れており、 官民連携が望ましいとさ 掛けて策定する。 る更新は、 小企業振興基本条例を踏 た予算措置をし、 合管理計画の策定に向け 今後の公共施設全般に係 目指し予算措置している。 平成29年度開設を 給食センターは、 地元経済や中 公共施設等総

手法は、 . 2 年を

用形態、 所の保育士さんなどの雇 何とか対応している保育 充実する。 臨時職員やパート雇用で 間委託する事で、 運営についても民 福利厚生などが 見解を伺う。

ある。 率を上げずに職員不足を 西江町長の見解を伺う。 民連携で行い、 るように運営や更新は官 更新が必要な施設が多く 補うようすべきと考える。 田中 以前から言ってい ンター、 役場庁舎、 公債費比 保育所の 給食セ

町長とも協議を予定して と認識しており、ニセコ て進むための重要な組織 とって官民が一体となっ たという経緯。 コ町と協議をして見送っ に報告をしないままニセ 不採択となり、関係各位 町長 今後のニセコエリアに を見込んでいたが 北海道からの補助

もらいたい。 切りなおして取り組んで じく話がとまっている。 施設の建設についても同 ひらふエリアの観光中核 これら、しっかりと仕 追求はしないが、

に役対場 対する考えは場の新組織体制 制

ド感を持った的確な行政 ブダウンも視野にスピー 町長 を発揮させ、 ①リーダーシップ



ニセコ観光局プロジェクトは、ここサン・スポーツランドが拠点

今後は

るが、

期間については相

す

41

1名は国からと考えてい

副町長の2名体制は、

分掌も精査し、

考えている。 で機構改革を行 制度を廃止し、課の運営を行ないたい。

課の事 町民目線 いたいと

②人事評価制度は公正な

併

時間がかかっても取り組 大きな政策もあるので、 と感じているが、 ぐに2名体制とは難し 手のあることである。

んでいきたい。

くのか。 る。それを受け、 年度はその準備期間であ 評価制度が始まるが、今 ②平成28年度から、 はどのように対応してい 本町で 人事

価と意欲の向上を図って よる政策発表会などで評 他の自治体では職員に 町長の見解を伺う。

える。取り組んで行きたいと考

自主

研修制度も復活して

揮できる仕組みづくり、 職員が能力を最大限に発 分反映したものとしたい。 せて職員育成の視点も十 評価制度構築のほか、

もらいたい。層の職員の研修も行って また退職者が多く、 行く事が重要と考える。 躍するステージを作って 田中 に育てるか、 若手職員をい 中間 (1 活か

て行きたいと考える。 一セコ観光局の今後は

かったとしてマイナス補その予算を全て使わないたが、3月定例議会で町と共に予算を計上して 結果になったのか。 いるが、何故このようなの事務局は本町が担って 正が行われた。ニセコ観 の進め方はどうするのか。 光局プロジェクト協議会 務事業を予定し、ニセコ 外目的税の調査業 平成26年度、

田中 済んだ話なの

に対する考えは。 田中 制や新組織体制 の副町長2名体

ながら、

今後十分検討し

町長

費用や資格が必要 な職種等を見極め

トッ

阿部 の一 和則 議員 般 質問

保育所建設のスケジュールは

建設までの工程表を町民 めていると思うが、 と整合性を取りながら進

に説明すべきと思うがい

町長:早々に候補地の選定を検討する

町長

保育所施設の整備

建設は、

本町の

喫

緊の課題と考えている。



平成 30 年に統合保育所が開設予定

待機児童解消と統合保育

一度 ている。 る。 む建設工事を計画してい は実施設計から一部建設 や基本設計を、2年目に ると考え、 設工事まで3年ほどかか 設することを目標と決め 工事を3年目は外構を含 基本設計から建 初年度は測量

とと思う。

子ども・子育て支援法

は、心待ちにしているこ きである。該当する世帯 も平成30年までの期限付

中で大きな柱の一つに保

いくつかの公約の

所にふさわし

ことにしている。

平成30年度に開

育所の建設がある。しか

討する。

の選定と諸経費などを検

新年度早々に、

候補地

うに円滑に移行を進める 教育に混乱がおきないよ 平成30年4月とすること が開設する年度を同じく園する年度と統合保育所 で、子どもたちの保育、 定こども園に移行し、開 また、 私立幼稚園が認

挙げての議論が深まって 辺の再開発について官民 市街地土地の防御策は 阿部 後に迫り、 新幹線開業が15

は地価の安い市街地に建従業員アパートや事務所 このままでは、 価の値上がりが再燃し、 いが、町長の具体的な防 置を取らなくてはならな えている。 発が難航するのは目に見 てしまってからでは、開 や投機目的の人が取得し とが懸念される。外国人 ひらふの二の舞になるこ てる動きが広まってきた。 不動産投資も活発で、 方で、ひらふ地区 今から防御措 市街地も

解している。 懸念材料があることは理 ひらふ地区の発展 目 日的の用地取得に外国人による投機 しかし、

駅周辺整備をはじめ市街 とが重要であり、 る。町の方向性を示すこ るには、事業が前提にな 町が公共用地を取得す 再開発事業などの諸課 引き続き検 新幹線

向けて関わっていきたい

町としても、

再開発に

ことは難しい。 る人が投機目的なのか、町として、用地取得す あり得なかった部分があ は外国人の投資抜きには 投資目的なのか判断する ることも確かである。

これから皆さんと膝を交 開発をするのか、 ない事項だと思う。 えて検討しなければなら するのか、このあたりが の利用を考えて再開発を 互い協力し合って、 も民民の部分は民民でお 討を行っていく。 ただ、町が購入して 土地



今後市街地の空き地はどうなっていくのか

新駅周

善吉 般 問 質 件 の

て支援に向けての町長の考えは

町長:倶知安町幼保再編支援基本方針を進めていく

の考えを伺う。 建設や保育サービスの充 はり今後、統合保育所の 自然的に高齢者、 あると思うが、本町の子 ポートができていく。や 本町に若い方がふえれば、 育ての充実、このことで から180人、やはり子 てくる子どもが160人 育て支援に向けての町長 本町で1年間に生まれ 低家賃住宅が必要で いろいろな部分のサ 障がい

難しく、

着実に高くなってきてい 町長 歩 本町の高齢化率は は緩やかだが、

押さえている。 年度は20名程度と 今年度は25名、 新

月に各

の方は多様な就業形態の

る。一方で、子育て世帯 いという願望を持ってい

も利用時間が合わなかっ 中で子どもを預けたくて

保育所の施設面積

人員確保を満たせなく

団体より総合的な福祉施察が行われ、2つの福祉 る旧 町長 の活用に向けた要望が 東陵 種 平成25年10 関係団体等によ 中学校校舎の視

子育て支援法関連3法施 な状況のもと、 る状況にある。 待機児童に登録されてい このよう 子ども・ 擁護学校の誘致をしては旧東陵中学校跡地

町として大きな原動力に

2%北海道の中でも若い

る人口割合が23・

本町

65歳を超え

なっている。

て、

前進することになるが、本町の子育て支援を 帯と子育て世帯がお互い 子育て支援に結びつく仕 る高齢者のマンパワーが 多様化した全ての保育 幼保再編支援基本方針を るようなことも考えてい 組みをつくり、高齢者世 ニーズを解消することは 行による新制度を活用し この方針を進めること 本町の子育て支援を 昨年8月に倶知安町 就労を求めてい 補完し合え 致、 年が経過しようとしてい 障がいを持つ中学生、そ 用できると感じている。 使っていくことが、自然 やはり学校は学校として 出ていない。 老人住宅、 か、 な形の中で施設を有効活 討されてきたが、 仮庁舎だとか、 今まで、役場庁舎の 結論が出ないまま2 をどう位置づける

と思う。 の充実を担う責任がある都市「倶知安」で、教育 視野に入れ、 以上に養護学校の誘致も を利用できないか、

町長の前向きな答弁を

た知識 方は、 しかし、

や技術を持ち、

経験に裏打ちされ

で解消されるのかどうか

のくらいなのか、

新年度

の人数、今現在ど 保育所の待機児童

多くの高齢者の

能や知識を使って働きた

群 器器

学校は学校として使うべきでは(旧東陵中学校)

12月と平成26

旧東陵中学の跡 保育所、 結論が なお、 致は、

育に、この中学校の跡地して高校生の後期中等教 いろいろな方策が検 専門学校の誘 後志の中核 それ

助け合い、

調整作業を進め利活用の 負担のあり方など整理、 会での意見、 でに至らず、今後、 画など方法をまとめるま 担の面や具体的な構想計 大規模改修などの財政負 いて議論してもらったが、 会を開催し、 月に町内の福祉関係施設 いと考えている。 方向性を決定していきた 長に集まってもらい懇話 高等養護学校 後志管内に北海 要望、 利活用につ 財政 懇話 0

策定した。

余市 養護学校及び同後

> の跡地についてしっか、今後、旧東陵中学 しいものと認識している 誘致の実現性は非常に厳 支援学校の児童生徒一人 下において、 画に掲げられている状況 公立特別支援学校配置計 援学校の再編、 とから、北海道も特別支 通学校の約10倍必要なこ 当たりに要する経費が普 定の生徒数の確保や特 2校が存在しており、 志学園 分校、 旧東陵中学校 養護学校 黒松内 統廃合を か 0

(要

明するものです。

議決しました

倶知安町議会の意思を表

提出しました

議決された意見書は関係

(要

旨)

旨)

北海道横断自動

共和間」 内間 とされた「倶知安-黒松 ②計画段階評価において を図ること。 知安余市道路「倶知安 -③道路整備に必要な道路 当面現道を活用する区間 ①北海道横断自動 の整備を図ること。 の早期事業着手 事道俱

う算を確保すること。

安余市道路に関する決議 車道倶

知

交渉に係る意見書 TPP交渉等国際貿易

①衆参 ること。 ②EPA・FTA等すべ 遵守出来ない場合は、T 必要な国境措置を維持す ての国際貿易交渉におい PPから脱退すること。 会における決議を遵守し 重要品目等の関税等 而院農林水産委員

P交渉は慎重な対応を

築への取り組みを求め向けた法的枠組み」構「核兵器のない世界に

組み」の構築に向けて、ない世界に向けた法的な 果たすよう求める。 我が国が積極的に貢献を い世界に向けた法的枠 日も 早 7 「核兵器の

当にありがとうござい

ことを学ばせて頂き、

本 0

一ヶ月間、

たくさん

機関に送付しました。 しに関する意見書 農協関係法制度の見直

すること。 組合の基本的性格を維持 直しにあたっては、 位置付けし事業目的の見 ①農協法の目的を明 協同 確に

式 えるパートナーであり、 形態の転換等は強制しな 制約する一方的な事業方 ③JA・連合会の協同 わないこと。 准組合員の利用制限は行 の創出などのためにも、 域経済の発展をともに支 ②准組合員は、 合としての事業・組織を 人口減少への対応や雇用 、業務執行体制、 農業や地 法人 組

拡充を求める意見書 回し、介護保険制度の介護報酬引き下げを撤

規模・多 る。 険制度の拡充を強く求め ホームの待機者解消、 打開するため、 ループホームの整備など への支援を強め、 介護報酬引き下げを撤 介護の人材不足を 機能施設、 養護老人 介護保 グ

援を求める意見書 ドクターヘリの安定的 な事業継続に対する支

続のために、操縦士をは ②安全・安定的な事業継 財源の確保に努めること。 額の改善を図るとともに 証し、算定方法及び基準 ものとなっているかを検 事業運営の実態に即した 事業費補助金の基準が

育成・確保に対して必要 な支援を行うこと。 めとする運航従事者の

北海道大学 佐々木拓哉さん

ターンをさせていただき この2月と3月にイン

されているのを見るだけ ということを知りました。 象を持っていました。し させていただくことが出 る」と肌で感じることが それが実際の議会に反映 大変な研究・努力がある 水面下ではとてつもなく しても、普段は見えない 員のお手伝いをさせてい かしいざ議会傍聴や、 ともなく、漠然とした印 実際に生の議会を見たこ 来たと思います。 と思える、そんな経験を でき「政治は興味深い」 ただくと、政策一つに関 インターン前までは、 「政治が動いてい 議

学ばれたお二人にご意見をいただきました。今回は、インターンとして倶知安町議会で

北海学園大学 今野 有紗さん

活発な議論を行う議会で 民の生活を第一に考えて 町民との距離が近く、 私が感じた倶知安町 想像よりも遥かに 町

ことに気が付きました。 は遠い存在であるわけ めに働く議員が、自分に その町とその町の人のた であると感じていました。 おり、自分には遠い存在 というイメージを抱いて 対して「お堅い政治家」 ないという、当たり前 じ、その町の人に選ばれ、 インターンシップを通し しかしながら、 これまで私は、 議員をより身近に感 今回 議員に

議会の動き (平成27年2月1日~平成27年4月30日まで)

「わっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 9日 本会議「先議案件審議」 済建設常任委員長出席		武士の割ら(平成27年2月	11日~平	・成 27 年 4 月 30 日まで)
議長出席	2月2日	経済建設常任委員会	3月10日	倶知安町総合計画後期基本計画審査特別委員会
□ 13日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	3 日	全国市議会議長会基地協議会第 78 回総会に		議会運営委員会
6 日		議長出席	11日	倶知安町総合計画後期基本計画審査特別委員会
6 日	5日	広域行政特別委員会		
会に議長出席				
7日 第19回くっちゃん阿波衆の集いに議長出席 経済建設常任委員会 南文・ダン派遺施設隊(第6次)帰国行事に 議長出席 帯広市議会議員視察来町 平成27年期防職員・団員互助会懇親会に議長 出席 長寿を祝う会 (俱知安駐屯地OB会) に議長 出席 長寿を祝う会 (俱知安駐屯地OB会) に議長 出席 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設者任委員会 議会政群合議会議会並びに行政懇談 会に議長出席 (4月7日 (4月7年) 日本地改良事業懇談会に正副議長・経済建設者 (4月7日 (4月7日) 日本地改良事業懇談会に正副議長・経済建設者 (4月7日 (4月7日) 日本 (4				
10日 経済建設常任委員会 南スーグン派遣施設隊 (第 6 次) 帰国行事に 議長山席 帯広市議会議員视察来町 平成27年消防職員・団員互助会懇親会に議長 出席 長寿を祝う会 (倶知安駐屯地 OB 会) に議長 出席 議会運営委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 経済建設で任委員会 とは議長出席 平成 27 年度倶知安飲食店組合新年交礼会に 議長出席 18日 後志広域連合議会議企業で委員会に議長出席 26日 (安皇公正副議長・経済建設常任委員会 に議長出席 27日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常 (任委員会で正副委員長出席 27日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常 (任委員会で正副委員長出席 27日 (本方を) 20日 (本方を)	7日		17日	
南スーダン派遣施設隊(第6次)帰国行事に 議長旧席				7
議長出席 お広市議会議員視察末町 19日 本会議「議案審議」 本会議「議案審議」				
13日 帯広市議会議員私祭来町 中成27年消防職員・団員互助会懇親会に議長 出席 長寿を祝う会(倶知安駐屯地〇B会)に議長 出席 長寿を祝う会(倶知安駐屯地〇B会)に議長 出席 接済建設常任委員会 経済建設常任委員会 長出席 平成 27 年課女会部年会に副議長出席 25日 任委員会正副委員長出席 25日 任委員会正副委員長出席 25日 任委員会正副委員長出席 25日 日本 15日 日本 25日			19日	
### 14日 平成27年消防職員・団員互助会懇親会に議長 出席 長寿を祝う会(倶別安駐屯地のB会)に議長 出席 長寿を祝う会(倶別安駐屯地のB会)に議長 出席 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 23日 経済建設常任委員会 24日 本会議「議案審議」議会改革に関する特別委員会 本会議「議案審議」議会改革に関する特別委員会 本会議「議案審議」議会改革に関する特別委員会 本会議「議案審議」議会改革に関する特別委員会 本会議「議案審議」 議会改革に関する特別委員会 本会議「議案審議」 議会改革に関する特別委員会 本会議「議案審議」 議会改革に関する特別委員会 本会議員会に議長出席 26日 後志広城連合議会の運営委員会に議長出席 27日 大少ちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 31日 はか議員出席 会派代表者及び無会派会議 4月7日 はか議員出席 会派代表者及び無会派会議 4月7日 はか議員出席 25日 後志広城連合議会定例会に議長出席 10日 8日 経済建設常任委員会 25日 保別安町議会第 1 回廊時会 議会運営委員会 7日 保別安町議会第 2 回廊時会 (流会) 第会運営委員会 7年 保別安町表金総会に議長出席 7日 2 年 保別安リフトボール協会総会に議長出席 25日 経済性委員会 25日 経済性委員会 25日 経済性委員会 25日 経済性委員会 25日 第 26 回保別安町福祉フォーラムに議長出席 25日 総務常任委員会 25日 総務常任委員会 25日 総務常任委員会 25日 総務常任委員会 25日 総務常任委員会 25日 総務常任委員会 25日 総済性登町を業務政促進協議会総会に議長出席 7日 25日 第 26 回保別安町福祉フォーラムに議長出席 25日 第 26 回保別安町福祉フォーラムに議長出席 25日 第 26 回保別安町福祉フォーラムに議長出席 25日 第 26 回保別安町福祉フォーラムに議長出席 8日 25日 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 8日 25日 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 8日 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 第 28日 第 27 年度町内会連合会定別総会に議長出席 第 27 年度町内会連合会定部長上席 第 28日 第 27 年度町内会連合会定部長上席 第 27 年度町内会連合会定部長上席 第 27 年度町内会連合会に議長上席 第 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定部長上席 第 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定で議長上席 第 28日 第 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定 27 年度町内会連合会定 27 年度町会主を記せる 27 年度 27 年度町会主を記せる 27 年度町会主を記せる 27 年度町会主を記せる 27 年度 27 年度町会主を記せる 27 年度	13 ⊟			
世席 長寿を祝う会(俱知安駐屯地OB会)に議長 出席 議会運営委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 議会改革に関する特別委員会 議会改革に関する特別委員会 議会改革に関する特別委員会 議会改革に関する特別委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 議会改革に関する特別委員会 議会改革に関する特別委員会 経務常任委員会 (知安町議会第2回臨時会 議会運営委員会 厚生文教常任委員会 同年文教常任委員会 同年文文教部任委員会 同知安町議会第2回臨時会 議会運営委員会 厚生文教常任委員会 同年文文教部任委員会 同年文文教部任委員会 同年文文教部任委员会 四部時会 議会運営委員会 早生文教部任委員会 同年文文教部任委员会 日本会議「議案審議」 総務常任委員会 同年文文教部任委员会 同部時会 議会運営委員会 早生文教部任委员会 日本会議「議案審議」 総務常任委員会 同年文文教部任委员会 同年文文教部任委员会 同年文教部任委员会 日本会議 「議案審議」 総務常任委員会 日本会議 「議案審議」 と 日本会議 「表述案本審議」 と 日本会議 「表述会社の日本会会に議長出席 日本会議 「全国大会会会」 日本会議 「会員会」 「 日本会議 「会員会」 「 日本会議長出席 日本会議 「 日本会会」 「 日本会会会」 「 日本会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会会				
展寿を祝う会(倶知安駐屯地のB会)に議長 出席				
出席 議会運営委員会 経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 保別安町社会の (現)				
議会運営委員会 経済建設常任委員会 接合運営委員会 議会運営委員会 議会運営委員会 議会政革に関する特別委員会 表会議「議案審議」 表の常任委員会 表の書 表の			23 ⊟	
経済建設常任委員会 経済建設常任委員会 平成 27 年度俱知安飲食店組合新年交礼会に 議長出席 平成 27 年度俱知安飲食店組合新年交礼会に 議長出席 18日 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 18日 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 19日 後志町村議会議長会定期総会並びに行政懇談会に議長出席 20日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常任委員会回路委員会出席 21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 31日 倶知安町議会第 3 回臨時会(流会)議会運営委員会 平成 27 年俱知安中学校入学式に議長出席 23日 会派代表者及び無会派会議 4月7日 8日 平成 27 年俱知安中学校入学式に議長出席平成 27 年度俱知安中学校入学式に議長出席平成 27 年度俱知安中学校入学式に議長出席平成 27 年度規知安ソフトボール協会総会に議長出席 平成 27 年度規知安ソフトボール協会総会に議長出席 平成 27 年度規知安ソフトボール協会総会に議長出席 平成 27 年度規知安ソフトボール協会総会に議長出席 平成 27 年度規知安ソフトボール協会総会に 議長出席 24日 保知安市議会第 1 回臨時会 第 6 経務常任委員会 早生文教常任委員会 早生文教常任委員会 早生文教常任委員会 早生文教常任委員会 日間知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席 24日 保知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席 24日 保知安町本管協会平成 27 年度評議員会に議長出席 24日 保知安町本管協会平成 27 年度評議員会に議長出席 4日 総務常任委員会 長出席 24日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建改信任委員長出席	16日			
24日 経済建設常任委員会 平成 27 年度倶知安飲食店組合新年交礼会に 議長出席 平成 27 年議友会新年会に副議長出席 18日 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 19日 後志広域連合議会議と定期総会並びに行政懇談会に議長出席 20日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常任委員会に議長出席 21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 第トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 出席 23日 会派代表者及び無会派会議 26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 27日 假知安町議会第 1 回臨時会議会運営委員会会議会運営委員会会議会運営委員会会派代表者及び無会派会議場と出席 27日 假知安町議会第 1 回臨時会議会運営委員会会議会運営委員会会会派代表者及び無会派会議場会に議長出席 27日 個知安町議会第 1 回臨時会議会運営委員会会議会運営委員会会会が代表者及び無会派会議と出席 27日 個知安町議会第 1 回臨時会議会運営委員会会会が代表者及び無会派会議と出席 27日 個知安町議会第 1 回臨時会議会に議長出席 27日 日本会議「発養費会会会会に議長出席 27日 個知安町議会第 1 回応時会に議長出席 28日 経済建設常任委員会会会会に議長出席 27日 経済建設常任委員会会会会に議長出席 28日 経済建設常任委員会会会会に議長出席 28日 経済建設常任委員会 は最近出席 28日 経済建設常任委員会 に議長出席 28日 経済建設常任委員会 に議長出席 28日 保知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席 長出席 28日 保知安町本育協会平成 27 年度評議会に議長出席 長出席 28日 保知安町本育協会とに議長出席 長出席 28日 保知安町本育協会とに議長出席 長出席 28日 保知安町本育協会とに議長・経済建設常任委員長出席				
平成 27 年度俱知安飲食店組合新年交礼会に 議長出席 平成 27 年議友会新年会に副議長出席 将表記 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 と 18日 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 と 18	17日		24日	
議長出席 平成 27 年議友会新年会に副議長出席 18日 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 19日 後志町村議会議会運営委員会に議長出席 20日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常 任任委員会正副委員長出席 21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニ 一に議長出席 雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 ほか議員出席 23日 会派代表者及び無会派会議 26日 授知安町議会第 2 回臨時会(流会)議会運営委員会 「おってカントリテスティバル 2015 開祭式に議長出席 国大学アフェスティバル 2015 開祭式に議長 4 月 7 日 8 日 平成 27 年度知安中学校入学式に議長出席 平成 27 年度保知安中学校入学式に議長出席 平成 27 年度保知安中学校入学式に議長出席 平成 27 年度保知安ソフトボール協会総会に議長出席 21日 全通サマークロスカントリースキー in 保知安 大会実行委員会役員会に議長出席 ようてい農協第 18 回通常総代会に議長出席 ようてい農協第 18 回通常総代会に議長出席 保知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席 第 26 回保知安町福祉フォーラムに議長出席 [長田席] 年 27日 第 26 回保知安町福祉フォーラムに議長出席 日 第 26 回保知安町福祉フォーラムに議長出席 [長田席] 年 27日 第 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 [長田席] 年 28日 [現安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席				
平成 27 年議友会新年会に副議長出席 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 後志町村議会議長会定期総会並びに行政懇談 会に議長出席 27日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常 任委員会正副委員長出席 21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 店か議員出席 23日 会派代表者及び無会派会議 26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 27日 (規知安町議会第 1 回臨時会 議会運営委員会 27日 (規知安町議会第 1 回臨時会 議長出席 27日 (規知安町議会第 1 回臨時会 議長出席 27日 (規知安町議会第 1 回臨時会 議長出席 27日 (担知安町法委員会 27日 (担田安町法委員会 27日 (担田安町法委員会 27日 (担田安町本管協会平成 27 年度評議員会に議長出席 27日 (担田安町本管協会平成 27 年度評議員会に議長出席 28日 (担田安町本管協会平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 28日 (担田安町本管協会総会に議長出席 28日 (担田安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席				
78日 後志広域連合議会議会運営委員会に議長出席 後志町村議会議長会定期総会並びに行政懇談会に議長出席 27日 大学修了式・お茶会に議長出席 27日 大学修了式・お茶会に議長出席 大学で表しまる。 大学修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学で修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学で修了式・お茶会に議長出席 大学で修了式・お茶会に議長出席 大学で修了式・お茶会に議長出席 大学で修了式・お茶会に議長出席 大学で修了式・お茶会に議長出席 大学で表しまる。 大学では、大学で修了式・お茶会に議長出席 大学では、大学を修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学では、大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学をがするが表しままないまする。 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学修了式・お茶会に議長出席 大学をがするが表しまする。 大学をがするが表しまする。 大学をがするが表しまする。 大学をがするが表しままないまする。 大学をがするが表しままないまする。 大学をがするが表しまする。 大学を修了式・お茶会に議長の表しまする。 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学をが表しまする。 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会に議長出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式・お茶会は表出席 大学を修了式 は、大学を修了式 は、大学を修了式 は、大学を修了は、大学を修了式 は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修了は、大学を表しまする。 大学を修了は、大学を修正は、大学を修了は、大学を修了は、大学を修正は、大学を修正は、大学を修正は、大学を修正は、大学を修正は、大学を修正は、大学を表生を表しまる。 大学を表しまるいきないる。				
19日 後志町村議会議長会定期総会並びに行政懇談会に議長出席 27日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常任委員会正副委員長出席 27日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 18日 18会運営委員会 19日 28日	18日			
20日 土地改良事業懇談会に正副議長・経済建設常任委員会正副委員長出席 21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 協議会運営委員会 平成 27 年俱知安中学校入学式に議長出席 電トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 出席 電子でアフェスティバル 2015 開祭式に議長 出席 27日 接近職会議会運営委員会 平成 27 年俱知安中学校入学式に議長出席 平成 27 年度知安消費者協会総会に議長出席 平成 27 年度 (知安市議会第1回臨時会議会運営委員会 会派代表者及び無会派会議 10日 議会運営委員会 会派代表者及び無会派会議 10日 21日 会立サマークロスカントリースキー in 俱知安 大会実行委員会役員会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 平成 27 年度寿大学開講式に議長出席 早 24日 展知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席 早 27日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 早 27日 第 27日 第 27日 年度町内会連合会定期総会に議長出席 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席 9日~24日 保知安町議会第1回定例会 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席				
大田・大会東・東線 大会に正副議長・経済建設常 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議集 日席 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議集 日席 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議集 日席 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先議案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会表 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件を募員会 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会表 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本会議「先法案件審議」 日本のものでは、日本のように			27日	
任委員会正副委員長出席	20日			
21日 くっちゃん ART2015オープニングセレモニーに議長出席 雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 ほか議員出席 雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 ほか議員出席 23日 会派代表者及び無会派会議 26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 27日 倶知安町議会第 1 回臨時会 議会運営委員会 27日 倶知安町議会第 1 回臨時会 議長出席 2日 厚生文教常任委員会 23日 経済建設常任委員会 23日 経済建設常任委員会 23日 経済建設常任委員会 24日 総務常任委員会 厚生文教常任委員会 24日 総務常任委員会 5日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 6日 議会運営委員会 「わっくわく」完成内覧会に議長出席 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 8日 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 第 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 第 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 第 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 6日 議会運営委員会 6日 保知安町福祉フォーラムに議長出席 27日 京建設常任委員長出席 28日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 6日 議会運営委員会 6日 保知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 6日 議会運営委員会 7日 27日 27日 27日 27日 27日 27日 27日 27日 27日				
一に議長出席	21日		31⊟	
雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長 8日 平成 27 年俱知安中学校入学式に議長出席 23日 会派代表者及び無会派会議 26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 平成 27 年度俱知安高校入学式に議長出席 平成 27 年度俱知安高校入学式に議長出席 平成 27 年度俱知安当市を入学式に議長出席 平成 27 年度俱知安ソフトボール協会総会に 議長出席 27日 倶知安高校卒業式に議長出席 23日 得知安高校卒業式に議長出席 25 日 厚生文教常任委員会 24日 経済建設常任委員会 厚生文教常任委員会 厚生文教常任委員会 24日 総務常任委員会 24日 総務常任委員会 24日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 24日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 24日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 24日 原 27日 第 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 8 日 平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 24日 原 27日 平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 24日 原 27日 平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 8 日 平成 27 年度知安町企業誘致促進協議会総会に議長出席 8 日 平成 27 年度財政庁 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 8 日 平成 27 年度財政庁 27 年度財政庁 27 年度財政庁 27 年度財政庁 28 日本				議会運営委員会
23日 会派代表者及び無会派会議 26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 27日 倶知安町議会第1回臨時会 議会運営委員会 会派代表者及び無会派会議 3月1日 倶知安高校卒業式に議長出席 2日 厚生文教常任委員会 3日 経済建設常任委員会 「申生文教常任委員会 「おっくわく」完成内覧会に議長出席 2日 第26回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 6日 議会運営委員会 「わっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 9日 本会議「先議案件審議」 平成 27 年度倶知安高校入学式に議長出席 27 年度側知安リフトボール協会総会に議長出席 26日 27 年度 28 長出席 28日		雪トピアフェスティバル 2015 開祭式に議長	4月7日	平成 27 年倶知安中学校入学式に議長出席
26日 後志広域連合議会定例会に議長出席 27日 倶知安町議会第1回臨時会 議会運営委員会 会派代表者及び無会派会議 3月1日 倶知安高校卒業式に議長出席 2日 厚生文教常任委員会 事生文教常任委員会 厚生文教常任委員会 「おっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 9日 本会議「先議案件審議」 10日 平成 27 年度倶知安ソフトボール協会総会に議長出席 美し出席 21日 全道サマークロスカントリースキー in 倶知安大会実行委員会役員会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 23日 平成 27 年度寿大学開講式に議長出席 24日 倶知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席 27日 平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 28日 倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席		ほか議員出席	8日	平成 27 年倶知安消費者協会総会に議長出席
27日 倶知安町議会第1回臨時会 議会運営委員会 会派代表者及び無会派会議 17日 全道サマークロスカントリースキー in 倶知安 大会実行委員会役員会に議長出席 大会実行委員会役員会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 と3日 平成27年度再大学開講式に議長出席 保知安町体育協会平成27年度評議員会に議長出席 長出席 4日 総務常任委員会 写生文教常任委員会 事26回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 6日 議会運営委員会 「わっくわく」完成内覧会に議長出席 28日 倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席 9日~24日 9日~24日 9日 本会議「先議案件審議」 28日 福祉会職務会に議長出席	23日	会派代表者及び無会派会議		平成 27 年度倶知安高校入学式に議長出席
議会運営委員会 会派代表者及び無会派会議 3月1日 倶知安高校卒業式に議長出席 2日 厚生文教常任委員会 3日 経済建設常任委員会 厚生文教常任委員会 厚生文教常任委員会 厚生文教常任委員会 厚生文教常任委員会 「おっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 9日 本会議「先議案件審議」 17日 全道サマークロスカントリースキー in 倶知安 大会実行委員会役員会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 23日 平成27年度寿大学開講式に議長出席 24日 倶知安町体育協会平成27年度評議員会に議長出席 27日 平成27年度町内会連合会定期総会に議長出席 28日 倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席	26日	後志広域連合議会定例会に議長出席	10日	平成 27 年度倶知安ソフトボール協会総会に
会派代表者及び無会派会議 3月1日 倶知安高校卒業式に議長出席 2日 厚生文教常任委員会 3日 経済建設常任委員会 「中生文教常任委員会 「おっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 9日 本会議「先議案件審議」 大会実行委員会役員会に議長出席 ようてい農協第18回通常総代会に議長出席 23日 平成27年度寿大学開講式に議長出席 24日 倶知安町体育協会平成27年度評議員会に議長出席 27日 平成27年度町内会連合会定期総会に議長出席 28日 倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席	27日	倶知安町議会第1回臨時会		議長出席
3月1日倶知安高校卒業式に議長出席2日厚生文教常任委員会3日経済建設常任委員会厚生文教常任委員会長出席4日総務常任委員会5日第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席6日議会運営委員会「わっくわく」完成内覧会に議長出席9日~24日倶知安町議会第 1 回定例会9日 本会議「先議案件審議」ようてい農協第 18 回通常総代会に議長出席23日平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席(具知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席		議会運営委員会	17日	全道サマークロスカントリースキー in 倶知安
2日厚生文教常任委員会23日平成 27 年度寿大学開講式に議長出席3日経済建設常任委員会具知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席4日総務常任委員会長出席5日第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席6日議会運営委員会「わっくわく」完成内覧会に議長出席9日~24日倶知安町議会第1回定例会済建設常任委員長出席9日~24日人名議「先議案件審議」		会派代表者及び無会派会議		大会実行委員会役員会に議長出席
3日経済建設常任委員会 厚生文教常任委員会24日倶知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議長出席4日総務常任委員会 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 6日27日平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 席6日議会運営委員会 「わっくわく」完成内覧会に議長出席28日倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席9日~24日倶知安町議会第1回定例会 本会議「先議案件審議」	3月1日	倶知安高校卒業式に議長出席		ようてい農協第 18 回通常総代会に議長出席
厚生文教常任委員会 長出席 4日 総務常任委員会 平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 5日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 席 6日 議会運営委員会 倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席 9日~24日 倶知安町議会第 1 回定例会 済建設常任委員長出席 9日 本会議「先議案件審議」	2 日	厚生文教常任委員会	23日	平成 27 年度寿大学開講式に議長出席
4日 5日 6日 第26回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 6日 議会運営委員会 「わっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 9日 本会議「先議案件審議」27日 平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出席 県知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席	3 日	経済建設常任委員会	24日	倶知安町体育協会平成 27 年度評議員会に議
5日 第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席 席 6日 議会運営委員会 倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 済建設常任委員長出席 9日 本会議「先議案件審議」 本会議「先議案件審議」		厚生文教常任委員会		長出席
6日 議会運営委員会 (具知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経済建設常任委員長出席 9日~24日 (具知安町議会第1回定例会本会議「先議案件審議」	4 日	総務常任委員会	27日	平成 27 年度町内会連合会定期総会に議長出
「わっくわく」完成内覧会に議長出席 9日~24日 倶知安町議会第1回定例会 9日 本会議「先議案件審議」 済建設常任委員長出席	5 日	第 26 回倶知安町福祉フォーラムに議長出席		席
9日~24日	6 日	議会運営委員会	28日	倶知安町企業誘致促進協議会総会に議長・経
9日 本会議「先議案件審議」		「わっくわく」完成内覧会に議長出席		済建設常任委員長出席
	9日~24日	倶知安町議会第1回定例会		
	9 日	本会議「先議案件審議」		
地域医療の確保に関する特別委員会		地域医療の確保に関する特別委員会		
広域行政特別委員会		広域行政特別委員会		
会派代表者及び無会派会議		会派代表者及び無会派会議		